

共同住宅用スプリンクラー設備試験結果報告書					
		試験実施日	年 月 日		
試験実施者					
住所					
氏名					
印					
用途	( ) 項	構造			
延べ面積	m <sup>2</sup>	階数	地上 階 地階 階		
住戸数	全住戸数	戸、共同住宅用スプリンクラー設備設置住戸数	戸		
加圧送水装置の種別			方式		
流水検知装置の方式	湿式	その他 ( )			
スプリンクラーヘッド	種別				
	設置個数				
試験項目		種別・容量等の内容	結果		
外	水 源	水源の種類・構造	———		
		水 量	m <sup>3</sup> (縦 m 横 m 有効深さ m)		
		吸水障害防止措置	有 ・ 無		
		給水装置	———		
		耐震措置	有 ・ 無		
観	加 設	設置場所			
		圧	ポ	製造者名	定格吐出量 ℓ/min
	ポンプの仕様			定格全揚程 m	
	型式		製造番号		
	送	を	電動機の仕様	製造者名	種別 型電動機
				定格電圧 V	
			型式	定格電流 A	
	製造番号	出力 kVA			
	水	用	ポンプ・電動機	設置状況	———
			接地工事	種接地	
			配線	———	
			潤滑油	———	
	装	る	水温上昇防止のための逃し装置	配管・バルブ類	———
				オリフィス等	流過口径 mm
			ブースターポンプに設ける逃し配管・逃し装置	逃し配管の高さ m	逃し装置の設定圧力 MPa
験	置	性能試験装置の配管・バルブ類	———		

試 験 項 目			種別・容量等の内容	結果			
外 観 試 験	加 圧 送 水 装 置	ポ ン プ を 用 い る も の 装 置	材 質	鋼板製・合成樹脂製			
			水 量	ℓ			
			呼 水 装 置	溢水用排水管	管の呼び	A	
				呼 水 管	管の呼び	A	
				補 給 水 管	管の呼び	A	
				減水警報装置	フロートスイッチ・電極		
		制 御 装 置	設 置 場 所				
			制 御 盤	————			
			予 備 品 等	————			
			接 地 工 事	種接地			
		圧 力 計 ・ 連 成 計	設 置 位 置	————			
	性 能		級				
	起 動 装 置	直 接 操 作 部		————			
		起 動 用 水 圧 開 閉 装 置	起 動 用 圧 力 タ ン ク	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器			
			タ ン ク の 容 量	ℓ			
			配 管 ・ バ ル ブ 類	管の呼び	A		
		流 水 検 知 装 置	————				
	高 架 水 槽 を 用 いる も の 装 置	高 架 水 槽 を 用 いる も の	構 造				
			内 容 積 ・ 落 差	m <sup>3</sup> m			
			配 管 ・ バ ル ブ 類	————			
			水 位 計	————			
		圧 力 水 槽 を 用 いる も の	種 類 ・ 構 造	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器			
			内 容 積 ・ 有 効 圧 力	m <sup>3</sup> MPa			
自 動 加 圧 装 置			有 ・ 無				
配 管 ・ バ ル ブ 類			————				
水 位 計 ・ 圧 力 計			————				
耐 震 措 置		有 ・ 無					
配 管 ・ バ ル ブ 類	設 置 状 況						
	機 器	配 管	————				
		バ ル ブ 類	————				
		吸 水 管	————				
		フ ー ト 弁	————				
防 食 措 置	有 ・ 無						
耐 震 措 置	有 ・ 無						
電 源	常 用 電 源		V				
	非 常 電 源 の 種 類		専用受電・自家発電・蓄電池・燃料電池				

試 験 項 目			種別・容量等の内容	結果		
外           観	*スプリンクラーヘッド	設 置 方 法	配 置 等	_____		
			配 管 へ の 取 付	_____		
			取 付 方 向	_____		
	機 器	表 示 温 度		_____		
		構 造 ・ 性 能		_____		
	* 制 御 弁	設 置 場 所 等		_____		
		設 置 高 さ	床面からの高さ	m		
		構 造		_____		
		表 示		_____		
	自 動 警 報 装 置	* 発信部 (流水検知装置・圧力検知装置)	設 置 場 所 等		_____	
			種 別 ・ 口 径		_____	
減 圧 警 報				_____		
構 造 ・ 性 能				_____		
* 音声警報装置		設 置 場 所		_____		
受信部 (表示装置)		設 置 場 所		_____		
* 試 験 弁	設 置 場 所		_____			
	構 造		_____			
	表 示		_____			
送 水 口	設 置 場 所 等	設 置 場 所 等		_____		
		設 置 高 さ	地盤面からの高さ	m		
		表 示		_____		
	機 器	結 合 金 具		_____		
		逆 止 弁 等		_____		
減 圧 措 置			減圧補助水槽・別配管系統・減圧弁			
験	* 表 示 器	設 置 場 所	_____			

試 験 項 目			種別・容量等の内容	結果				
機 能 試 験 備 考	加 圧 送 水 装 置	ポ ン プ	呼水装置 作動試験	減水警報装置作動状況	底面からの高さ cm			
				自動給水装置作動状況	————			
				呼水槽からの水の補給状況	————			
			制 御 装 置 試 験		起動・停止操作時の状況等	————		
					電源切替時の運転状況	————		
			起 動 装 置 試 験		ポンプの起動状況等	————		
					起動表示の点灯状況			
					起動用水圧開閉装置の作動圧力	設定圧力 MPa 作動圧力 MPa		
			ポ ン プ 試 験	運 転 状 況		————		
				※縮切り運転 時の状況	縮 切 揚 程	m		
						電 圧	V	
						電 流	A	
				※定格負荷運 転時の状況	定 格 揚 程	m		
					電 圧	V		
			電 流		A			
			※ 水 温 上 昇 防 止 装 置 試 験		逃し水量 ℓ/min			
			※ ポ ン プ 性 能 試 験 装 置 試 験		表示値の差 ℓ/min			
		高 架 水 槽 を 用 い る も の	作動試験	給水装置作動状況	————			
				静 水 圧 測 定	最下位 MPa 最上位 MPa			
		圧 力 水 槽 を 用 い る も の	作動試験	給水装置作動状況	————			
				自動加圧装置作動状況	————			
				静 水 圧 測 定	最下位 MPa 最上位 MPa			
		配 管 耐 圧 試 験			試験圧力 MPa			
	* 制 御 弁 閉 止 表 示 機 能 試 験			————				
	* 流 水 検 知 装 置 又 は 圧 力 検 知 装 置 ・ 表 示 ・ 警 報 等			————				
	相 互 作 動 試 験	相 互 通 話 の 状 況		————				
		音 声 警 報 装 置 の 鳴 動 状 況		————				
	放 水 試 験	* 起 動 性 能 等		————				
		* 放 水 圧 力 (MPa)		————				
		* 放 水 量 (ℓ/min)		————				
	非 常 電 源 切 替 試 験	自 家 発 電 設 備		————				
		蓄 電 池 設 備		————				
		燃 料 電 池 設 備		————				
備 考								

- 備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」(平成9年消防庁告示第8号)に適合しているものとして、総務大臣又は消防庁長官が登録した登録認定機関の認定を受けた旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 \*印のあるものは、⑤に住戸、共用室又は管理人室ごとの試験結果を記入すること。
- 6 非常電源(内蔵型以外のもの)及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
- 7 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

共同住宅用スプリンクラー設備

⑤

階 部 屋 番 号	外 観					機 能			総 合			
	スプリンクラーヘッド 設置方法 ① 配置等 ② 配管への 取付 ③ 取付方向	機 器 ① 表示温 度 ② 構造・ 性能	制 御 弁 ① 設置場 所等 ② 設置高 さ ③ 構造 ④ 表示	自 動 警 報 装 置 流水検知装 置・圧力検知 装置 ① 設置場所等 ② 種別・口径 ③ 減圧警報 ④ 構造・性能	音 声 警 報 装 置 設置場所	試 験 弁 ① 設置場 所 ② 構造 ③ 表示	表 示 器 設置場所	制 御 弁 閉 止 表 示 機 能	検 知 装 置 ・ 表 示 ・ 警 報 等 流 水 検 知 装 置 又 は 圧 力	起 動 性 能 等	放 水 圧 力 (MPa)	放 水 量 (ℓ/min)
	結 果	結 果	結 果	結 果	結 果	結 果	結 果	結 果	結 果	結 果	結 果	結 果
備  考												

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 結果の欄には全て良の場合は○、一部でも否の場合は×を記入し、放水圧力及び放水量の欄には測定値を記入の上○×を記すこと。